

事業所名		かもめハウス				支援プログラム（児童発達支援）		作成日		2025 年		2 月		28 日	
法人（事業所）理念		楽しいことなら続けることができます。続けることができれば、それはその子の力になります。その力は社会の扉を開く鍵になります。社会の扉を開くことができれば未来が広がります。そこには、必ずその子らしい人生が待っていると私たちは考えています。													
支援方針		児童発達支援では机上での課題やトレーニングも大切にしていますが、スタッフや他児とのやり取りを積み重ね、人との関わりの土台をしっかりと作ることも大切にしています。「どんなことが好きかな?」「どんなことが得意かな?」とまずはお子様自身が「楽しい!」と思える活動から取り組み、お子様の「強み」を一緒に導き出していきます。お子様一人一人の発達上のお困りや苦手などを把握し、それぞれのお子様に合った支援を行っていきます。お子様自身が自分自身の困りごとや苦手なことを客観的に把握した上で、その対処の方法を知り、集団や社会で暮らしやすくなるお手伝いが出来ればと考え、支援を行っています。													
営業時間		9 時0 分から18 時0 分まで				送迎実施の有無		あり		なし					
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・食具を使った食事の仕方、衣類の着脱や身支度、排泄、自分の物を指定のかごの中に入れてしまうなどの身辺自立を意識して活動しています。 ・食事前の手洗い、うがい、入室前の検温、消毒など衛生管理や健康管理につながるよう関わっています。													
	運動・感覚	・天気の良い日には積極的に戸外遊びを取り入れています。近くのお寺や公園への散歩、不整地での活動を取り入れ、自然の中で体をのびのび動かすことを大切にしています。 ・マット、トンネル、トランポリンなどを使って体全体を動かしながら楽しむ粗大運動や、シール貼り、紐通し、パズル、ハサミ、粘土遊び、絵の具遊びなどの工作なども取り入れつつ微細運動・感覚認知の遊びを行っています。 ・自分で作った楽器を演奏する機会を設けたり、日々の活動の始まりと終わりには音楽に合わせて体を動かす体操や、手遊びを楽しんでいます。													
	認知・行動	・色や形などを仲間分けしながら視覚的な認知を育てていきます。 ・一日のプログラムなどをタイムテーブルで視覚的に表しながら、時間の認知が深まるように支援しています。 ・その日のお天気や、日付、曜日の確認を一緒にしながら、天気の感覚や日付などの数の認知を養っていきます。													
	言語コミュニケーション	・スタッフやお友達との挨拶や日常会話のやりとり、絵カードや指差しを使った意思の表出、言動から見える気持ちの代弁などを行いながら、自分の気持ちが伝わった経験が得られるように支援しています。 ・絵本や紙芝居、ペープサートなどを用いながら様々な表現に触れ、言語理解や語彙の発達が進むように働きかけています。													
	人間関係 社会性 インクルージョン	・お友達に関心が持てるようにスタッフが間に入って関わることから始め、ごっこ遊びや集団遊びなどで、お友達とつながることの楽しさを知ることが出来るよう関わっています。 ・イベント時に近隣店舗を訪問し、交流を持ったり、おやつを提供を通じて地域との交流を持っています。													
家族支援		・お子様を中心に置きながら、送迎時などに日々の様子を共有し、お子様の成長や困りごとなど小さなことでも共有し、共に考えながら支援に取り組んでいきます。 ・6カ月に一度は必ず個別面談の機会を持ち、そのほかにも必要に応じて保護者様とお話しする機会を作っていきます。 ・不定期ですが、ご利用の保護者様が集まる機会を作り、日々の悩み事などを相談する機会を設けています。				移行支援		インクルージョン、就学やその先のライフステージを見据えての一人ひとりに合わせた課題、コミュニケーション面・社会性の育ち等、支援していきます。							
地域支援・地域連携		戸外での遊び、散歩等、様々な場所で活動をしなが、経験を多く持てるようにしていきます。				職員の質の向上		・虐待防止のための研修 ・身体拘束等の適正化のための研修 ・感染症の予防及び蔓延防止のための研修 ・業務継続（BCP）のための研修 ・強度行動障害を理解するための研修 など							
主な行事等		ポッチャ大会    ドッグセラピー    保護者会（かもめの会）    BBQ    遠足    など													